

答弁指定事項進捗状況調査書

本会議名等		議員名	平沼 昌平	確認年月日	H29. 3. 17
開催日	H29. 3. 14	議案名等		平成29年度一般会計予算 (戦没者追悼式の在り方について)	
会議名	予算審査特別委員会				
質問要旨		<p>福島町では297名の方が戦死されている。戦没者追悼式については、年々遺族の方々が高齢化し遺族会が解散、参加者が激減し式の維持が難しくなっている中で、これからは遺族・関係者だけでなく町民全体に参加を周知し、町内では戦争でこれだけの方々が犠牲になったことを知らしめ、町全体で戦没者を追悼する方向で事業の転換を考えていかなければ、戦没者に対する敬意が薄らいでくると思うが、町長の考えを聞きたい。</p>			
答弁要旨 (答弁者：鳴海町長)		<p>戦没者追悼式については、戦争で亡くなった297名の御霊を敬うことが一義であると思っています。遺族の方に敬意を表すため色々な形で式典が行われています。戦後だいたい遺族も高齢化して少なくなり、高齢のため参加できない状況もあります。今の平和がどうして出来ているのかを伝える一つのセレモニーでもあると思っています。これまでは遺族会を中心に、家族を亡くした方々に対しての式典として推移してきました。</p> <p>福島町の遺族会も早く無くなり、吉岡も無くなり、遺族と町が共同でやってきた経緯がありますが、各町も形式が2つに分かれていると思います。戦没者追悼的な意味合いと、平和への祈りみたいな形の所がありますので、遺族の方々と意見交換をしておりますが、若い人たちも自分たちが今の平和な日本に暮らせるのはそういった犠牲の上にあることを伝えていくことも我々の義務だと思っているので、戦没者追悼式のあり方をもう一度検証し、一般の人が参加しやすいような形も踏まえながら前向きに検討していきたいと思っています。</p>			
対応・進捗状況		対応済み (平成 年 月 日)	<input type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/> 実施不可	
取り組み状況		<p>■平成29年6月1日 現在</p> <p>今年度の戦没者追悼式の実施にあたり、遺族並びに社会福祉協議会と意見交換をしているところですが、今後の追悼式の在り方についても引き続き協議してまいります。また、今年度は、町広報に追悼式の開催案内を掲載するなど一般の方が参列できるよう周知に努めてまいります。</p>			
調査を終了する本会議		平成30年度定例会3月会議			
その他参考事項		追跡内容は上記の1項目としました。			